

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 23 年 8 月 4 日 (2011.8.4)

【公開番号】特開 2010-56113 (P2010-56113A)  
 【公開日】平成 22 年 3 月 11 日 (2010.3.11)  
 【年通号数】公開・登録公報 2010-010  
 【出願番号】特願 2008-216343 (P2008-216343)  
 【国際特許分類】

H 0 1 L 21/3065 (2006.01)

C 2 3 C 16/44 (2006.01)

【F I】

H 0 1 L 21/302 1 0 1 H

C 2 3 C 16/44 J

【手続補正書】  
 【提出日】平成 23 年 6 月 16 日 (2011.6.16)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

基材と真空処理装置の被クリーニング対象部分に付着した異物を除去する粘着面とを有する粘着シートと、前記基材に接する導電性シートと、該導電性シートを押し付ける押し付け部材と、前記押し付け部材を介して前記粘着面を前記真空処理装置の被クリーニング対象部分に密着させるための力を調整する押し付け力調整機構と、前記導電性シートに正または負の電圧を印加する電圧印加機構とを備え、  
 前記押し付け部材は前記真空処理装置の被クリーニング対象部分の表面と相似な形状であり、前記粘着面は、前記電圧印加機構により前記導電性シートに印加された正または負の電圧によって静電吸引力を発生させることを特徴とするクリーニング装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のクリーニング装置において、

前記粘着シートと、前記導電性シートおよび前記押し付け部材を一体に構成するとともに、前記粘着面が、前記真空処理装置の被クリーニング対象部分の曲面の曲率と同じ曲率の曲面を有することを特徴とするクリーニング装置。

【請求項 3】

真空処理装置の被クリーニング対象部分に密着した粘着シートに接する導電性シートと、該導電性シートを押し付ける押し付け部材と、前記押し付け部材を介して前記導電シートを前記粘着シートに押し付けるための力を調整する押し付け力調整機構と、前記導電性シートに正または負の電圧を印加する電圧印加機構とを備え、  
 前記押し付け部材は前記真空処理装置の被クリーニング対象部分の表面と相似な形状であり、前記粘着面は、前記電圧印加機構により前記導電性シートに印加された正または負の電圧によって静電吸引力を発生させることを特徴とするクリーニング装置。

【請求項 4】

請求項 1 に記載のクリーニング装置において、

前記粘着シートはロール状に構成され、

前記押し付け部材は前記導電性シートを表面に配置した弾性材料から構成されたローラ状の押し付け部材として構成され、

前記粘着シートをロール状に回収する機構を備えることを特徴とするクリーニング装置。

【請求項 5】

請求項 1 に記載のクリーニング装置において、

前記押し付け部材は前記導電性シートを表面に配置した弾性材料から構成されたローラ状の押し付け部材として構成されることを特徴とするクリーニング装置。

【請求項 6】

基材と真空処理装置の被クリーニング対象部分に付着した異物を除去する粘着面とを有する粘着シートと、前記基材に接する導電性シートと、該導電性シートを押し付ける押し付け部材と、前記導電性シートに正または負の電圧を印加する電圧印加機構とを備えるクリーニング装置を用いたクリーニング方法であって、

前記押し付け部材により前記粘着面を前記真空処理装置の被クリーニング対象部分に密着させる第 1 の工程と、前記電圧印加機構が前記導電性シートに正または負の直流電圧あるいは時間的に極性を変えて電圧を印加する第 2 の工程とを有することを特徴とするクリーニング方法。